

2025年12月に厚労省より薬事工業生産動態統計調査¹⁾（以下「薬動」）の最新2024年・年報データが公表されました。薬動は日本国内で製造販売業の業態を持つ全ての業者に報告の義務があり、国内医療機器の生産と市場動向を把握できる統計データです。

MDPROでは、これまで薬動の年報オープンデータを基に、主に国内医療機器市場の集計データをBIツールにてダッシュボード化し、医機連ウェブサイト内の「MDPRO データ集」

（https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_childcat/market-trend/）に公開してきました。今回、2019～2024年の6年間のデータについて従来の集計方法を一部変更しデータ公開を行うこととしましたので、変更点の概要と公開内容についてご紹介いたします。

現在の薬動は類別コード毎に分類された一般的名称（JMDNコード）単位で集計がされています。一方で、類別は医療機器を大きく種類によって区別した分類であるため、必ずしも製品の機能特性による分類とはなっていません²⁾。そこで医療機器の機能製品毎の分布をとらえるために、MDPROではこれまで医療機器製品分類にある、中分類、大分類、製品区分の分類と連結し分析する取組を行ってきました³⁾⁴⁾⁵⁾。ただし連結にあたってはいくつか課題があり、過去のMDPROリサーチ等でも分類法の検討を重ねてきました。

また上記、分類毎の連結性の課題以外に、薬動の公表データ（年報 統計表 第15表等）では、一部に個別の一般的名称を確認することができず、製品分類が不明な項目が発生する課題もあります。背景として、個別企業の情報が特定されないように、1つの一般的名称につき報告企業が2社以下の場合、統計表には当該一般的名称を掲載せず、類別コード毎に“その他の〇〇”としてまとめて掲載する運用が取られているためです。（図1）

第15表 医療機器一般的名称別生産・輸入・出荷・在庫金額

（単位：千円）

一般的名称 コード	一般的名称	計	生産	輸入品☆	出荷			12月末在庫
					計	国内	輸出	
...								
医01	エックス線フィルム	68,365,624	61,823,262	6,542,362	54,008,445	459,934	53,548,511	4,318,303
40977000	スクリーン型歯科画像診断用X線フィルム	84,585	20,124	64,461	89,744	89,744	-	2,589
40978000	ノンスクリーン型歯科画像診断用X線フィルム	200,317	69,537	130,780	205,403	182,694	22,709	18,517
40980000	ノンスクリーン型医用X線・画像診断用フィルム	2,518,922	2,517,560	1,362	6,551,920	1,889	6,550,031	123,153
40983000	画像診断用自己現像フィルム	65,547,006	59,216,041	6,330,965	47,142,061	166,290	46,975,771	4,126,905
	その他のエックス線フィルム	14,794	-	14,794	19,317	19,317	-	47,139
...								

↑ “その他の〇〇”として一般的名称がまとめて記載された項目例（類別「医01 エックス線フィルム」の総額に含まれる）

図1 薬動 統計表 第15表より“その他の〇〇”の事例

この“その他の〇〇”に関連した製品分類上の課題を解消するために、従来は、全ての類別内に含まれる“その他の〇〇”項目を、「その他」という1カテゴリーにまとめる方式（元データ保持方式（「その他」集約方式））を用いてきました（元データ保持方式の詳細は医機連ジャーナル119号のMDPROリサーチを参照⁴⁾）。これに対し、今回新たに“その他の〇〇”区分の金額を、同一の類別内に含まれる他の一般的名称の金額構成比に応じて、一般的名称毎に按分する方式（按分方式）を追加採用しました（按分方式の詳細は医機連ジャーナル132号のMDPROリサーチを参照³⁾⁶⁾）。各区分方式の特徴を表1に、按分方式の算出例を図2に示します。

表1 製品区分方式の特徴比較

	元データ保持方式（「その他」集約方式）	按分方式
長所	一般的名称毎の金額が、厚労省の公表データ（元データ）と一致する	医療機器製品分類毎での全体傾向を掴むことができる（詳細不明な「その他」カテゴリーがない）
短所	調査年により概ね国内出荷総額の7～9%が「その他」カテゴリーに分類され、詳細不明であるため、該当部分の傾向分析が困難	一般的名称毎の金額比率に基づく按分であるため、一般的名称毎のデータに“その他の〇〇”の一部が加算されることで、元データが読み取れなくなる

【按分方式：金額算出の流れ】

① 類別内構成比の算出

(単位：%)

一般的名称 コード	一般的名称	計	生産	輸入品☆	出荷			12月末在庫
					計	国内	輸出	
医01	エックス線フィルム	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
40977000	スクリーン型歯科画像診断用X線フィルム	0.1%	0.0%	1.0%	0.2%	20.4%	0.0%	0.1%
40978000	ノンスクリーン型歯科画像診断用X線フィルム	0.3%	0.1%	2.0%	0.4%	41.5%	0.0%	0.4%
40980000	ノンスクリーン型医用X線・画像診断用フィルム	3.7%	4.1%	0.0%	12.1%	0.4%	12.2%	2.9%
40983000	画像診断用自己現像フィルム	95.9%	95.8%	97.0%	87.3%	37.7%	87.7%	96.6%
	その他のエックス線フィルム	-	-	-	-	-	-	-

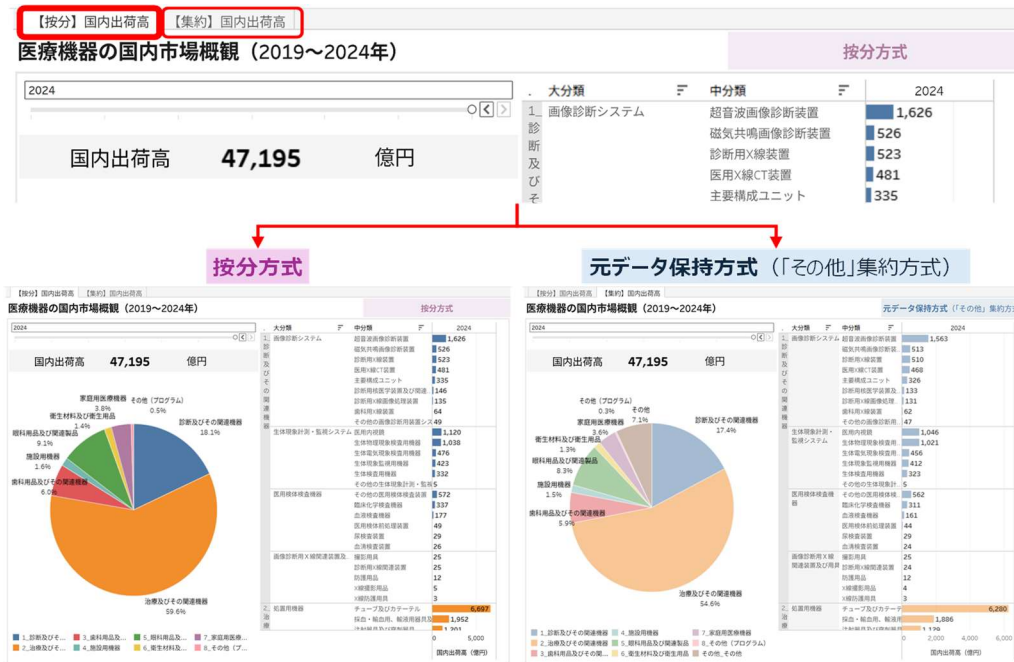
② 按分完了後

(単位：千円)

一般的名称 コード	一般的名称	計	生産	輸入品☆	計	国内	輸出	12月末在庫
医01	エックス線フィルム	68,365,624	61,823,262	6,542,362	54,008,445	459,934	53,548,511	4,318,303
40977000	スクリーン型歯科画像診断用X線フィルム	84,603	20,124	64,607	89,776	93,678	0	2,618
40978000	ノンスクリーン型歯科画像診断用X線フィルム	200,360	69,537	131,076	205,476	190,703	22,709	18,721
40980000	ノンスクリーン型医用X線・画像診断用フィルム	2,519,467	2,517,560	1,365	6,554,264	1,972	6,550,031	124,512
40983000	画像診断用自己現像フィルム	65,561,193	59,216,041	6,345,313	47,158,928	173,580	46,975,771	4,172,452
	その他のエックス線フィルム	0	0	0	0	0	0	0

図 2 按分方式における金額算出の事例 (上記図 1 の事例より展開例)

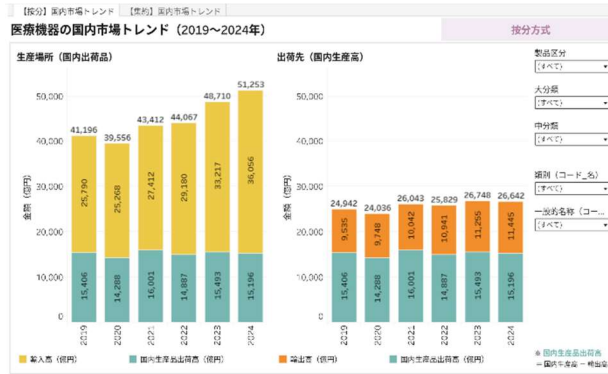
今回の「MDPRO データ集」における薬動データ公開時には、両区分方式を閲覧できる形にリニューアルいたします。国内出荷高を基とした「医療機器の国内市場概観 (2019-2024)」というデータを公開予定ですが、図 3 に赤枠で示す通り、各ダッシュボード上部に表示されたタブを選択することで、それぞれの区分方式を切替表示することが可能です。



[URL] https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_child/医療機器の国内市場概観

図 3 MDPRO データ集 公開データ (国内市場概観) 区分方式のタブ切替表示方法

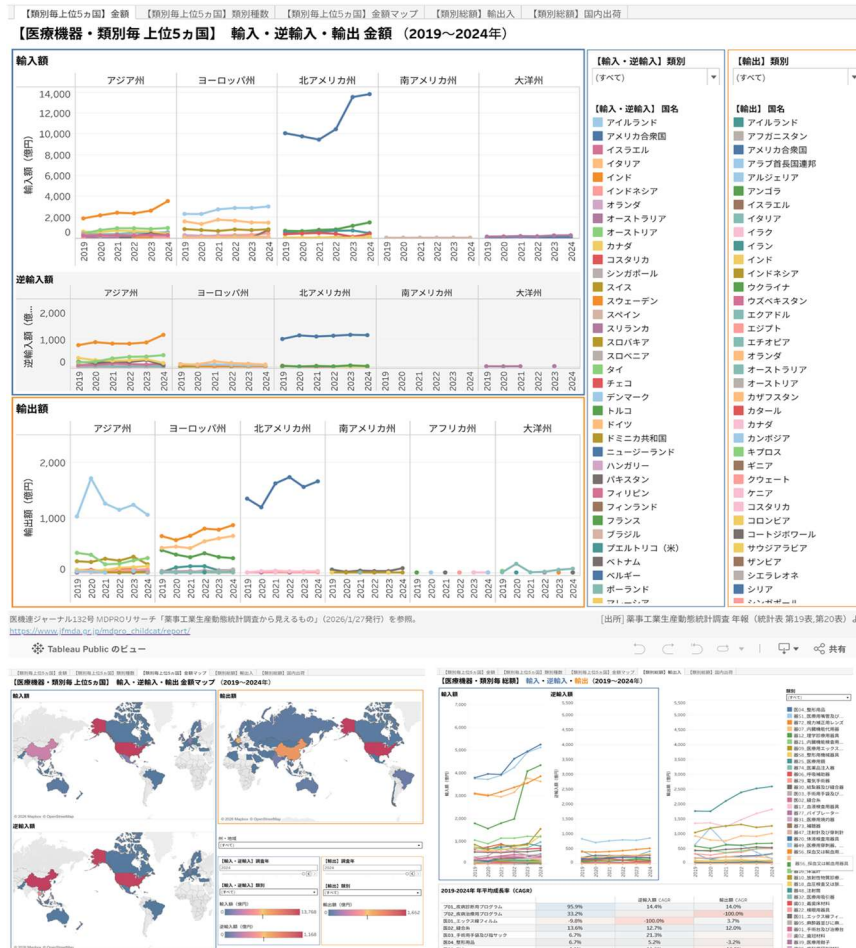
また従来「MDPRO データ集」内で、「医療機器の国内市場トレンド」「医療機器の国内生産トレンド」の 2 ページに分けて公開していたデータを、1 つのダッシュボードに統合いたします (図 4)。本データについても、中分類・大分類・製品区分のカテゴリーでフィルタリングを行うにあたり「按分方式」と「元データ保持方式 (「その他」集約方式)」を上部タブで切り替えて確認が可能です。なお、薬動における輸入高と輸出高の金額は貿易収支の確認には適さないデータであることにご留意の上 7)、生産場所や出荷先それぞれでのトレンド確認などにご活用ください。



【URL】 https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_child/医療機器の国内市場トレンド

図 4 MDPRO データ集 公開予定データ (医療機器の国内市場トレンド)

さらに、上記の医機連ウェブサイト内の「MDPRO データ集」にて定期更新を行っているデータ類とは別に、2026年1月に発行したMDPROリサーチ「[薬事工業生産動態統計調査から見えるもの：最新年報データによる医療機器産業動向と統計活用の視点](#)」³⁾より分析データの一部を追加公開いたします。(図5)薬動年報の統計表19、20表等より、類別毎の上位5か国情報などを複数のタブに渡ってまとめております。医療機器の輸入や輸出などで日本と取引の多い国、地域および類別毎のデータなどが一覧可能です。



【URL】 https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_child/医療機器の類別毎上位国（輸出入）分析（2019~2024年）

図 5 医療機器の類別毎上位国（輸出入）分析の公開データ例（一部）

薬動オープンデータから分析可能なデータ粒度には限界もありますが、可能な範囲で情報を可視化することにより、産業構造の変化の分析と今後の動向予測に関する新たな気づきに繋がれば幸いです。MDPROでは引き続き、医療機器産業に関連した基礎情報の整理分析により、役立つ情報公開と情報活用に向け取組を継続してまいります。

◇ 出典（URL は 2026 年 2 月 9 日時点）

- 1) 厚生労働省, 『薬事工業生産動態統計調査』
<<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/105-1.html>>
- 2) 清水 祐介: 医薬品医療機器法における医療機器プログラムの取り扱い, 医学物理, 2016, 36 巻, 3 号, p. 132-136,
<https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjmp/36/3/36_132/article-char/ja>
- 3) 林 奈央: MDPRO リサーチ「薬事工業生産動態統計調査から見えるもの：最新年報データによる医療機器産業動向と統計活用の視点」. 医機連ジャーナル 第 132 号, 2025.1, p.57-82.
<https://www.jfmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2026/01/Journal132_MDPROResearch.pdf>
- 4) 平井 祐治: MDPRO リサーチ「薬事工業生産動態統計調査を活用した市場分析」. 医機連ジャーナル 第 119 号, 2022.10, p.49-65.
<https://www.jfmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2022/10/12_journal119_MDPRO_薬事工業生産動態統計調査を活用した市場分析-1.pdf>
- 5) 平井 祐治: MDPRO ミニコラム「薬事工業生産動態統計調査年報 速報」. 医機連通信 第 319 号, 2024.1, p.2-6.
<<https://www.jfmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2024/04/MDPROminicolumn319.pdf>>
- 6) 齋藤 眞殊, 田城 孝雄: 医療機器産業における国内シェアと国際競争力に着目した競争力の検証研究. 医療機器学 = The Japanese journal of medical instrumentation. 95(5)=780:2025.10, p.510-519.
- 7) 厚生労働省, 『薬事工業生産動態統計調査』 利用上の注意
<<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/105-1g.html#list03>>

◇ MDPRO データ参考リンク ご案内

- i) 医機連ウェブサイトより「MDPRO データ集」
<https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_childcat/market-trend/>
医療機器の国内市場概観
<https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_child/医療機器の国内市場概観>
医療機器の国内市場トレンド
<https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_child/医療機器の国内市場トレンド>
医療機器の国内市場トレンド（2019-2024）
<https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_child/医療機器の類別毎上位国（輸出入）分析（2019～2024年）>

（医療機器政策調査研究所 林 奈央 記）

医療機器政策調査研究所からのお知らせ @JFMDA_MDPRO
X(旧 Twitter)で医療機器産業関連のニュースを配信中。医機連トップページからフォローできます。